

令和2年度最高裁判所総合評価審査委員会（第3回） 議事概要

開催日及び場所	令和2年10月27日（火）, 29日（木） ※回議により開催
委員	委員長 中城康彦（明海大学不動産学部教授） 委員 遠藤和義（工学院大学建築学部教授） 伊室亜希子（明治学院大学法学部教授） 伊藤肇（経理局営繕課首席技官） 藤田耕一郎（同 次席技官）
委員からの意見・質問及びそれに対する回答等	別添のとおり

(別添)

1 第2回総合評価審査委員会(回議)の審議について(報告事項)

広島地家裁福山支部庁舎新営建築工事

- (1) 評価に至った説明内容の補足を説明
- (2) 委員の主な意見は以下のとおり

【委員】

前回委員会評価結果の補足説明について、了解した。今後は技術的に判断が複雑となる提案については、委員への事前相談の機会を作るなどし、提案について加点評価の幅を広げていくことも検討されたい。

【事務局】

了解した。

2 令和元年度工事等の発注状況について(報告事項)

- (1) 令和元年度発注状況について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

【委員】

発注状況を踏まえた対策等については他委員会で検討しているものと思われるので、今回の報告について了解した。

3 (業務)簡易公募型プロポーザル方式の評価結果について

津地家簡裁庁舎新営実施設計業務

- (1) 業務概要及び評価結果について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

【委員】

具体的でない提案について、低い評価としたことは理解した。

【委員】

基本設計について、どの程度の変更は許容できるのか。

【事務局】

基本設計の趣旨から離れたものでなければ、検討すること自体を否定するものではない。検討した結果、景観上も機能上もより良い案がある場合は、変更の余地は十分あると考えている。

【委員】

1者のみ提案書の提出があった場合は、提案内容に関わらず契約することになるのか。

【事務局】

評価項目の一つにおいて、評価委員の評価点平均に0点があった場合は、特定しない(契約しない)こととなっている。

【委員】

評価委員の点数に多少のばらつきはあるようだが、大勢に影響はないようなので、適切に評

価されているのではないかと思う。評価結果についてよろしいと思う。

(議事終了)